



## 試合におけるフェアプレイの推進

フェアプレイはスポーツの基本です。それは、①ルールを守る、②対戦相手をリスペクトし、③スポーツマンシップにのっとり正々堂々と戦うことを意味します。日本テニス協会は以下の2つのテーマに取り組んでいます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

### 1. セルフジャッジ5原則順守のお願い

コート内では時としてトラブルが起きます。その多くはセルフジャッジの試合におけるイン・アウトの判定や、スコアの食い違いなどに起因するものです。とりわけ、ジャッジコールが対戦相手に聞こえない場合やハンドシングルが曖昧な場合のトラブルです。試合でのフェアプレイ向上のため、日本テニス協会は、セルフジャッジ5原則の順守を推進し、ジュニア選手、のみならず全てのテニスプレイヤーに対して、セルフジャッジ5原則順守の呼びかけを行っています。ジュニア選手の保護者や指導者の皆様にも、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップにのっとりフェアな試合が行なわれるよう、ご支援ください、よろしくお願いします。

### セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」(相手に有利に)！
- ② 「アウト」または「フォルト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
- ⑤ コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない！

### 2. ゲームの始めと終わりに「あくしゅ、あいさつ、フェアプレイ」の心がけのお願い

プレイヤーは、試合の終了時に対戦相手と握手するだけでなく、試合前にも、相手をリスペクトして握手し挨拶することを心がけましょう！ そして試合中は、スポーツマンシップにのっとり、自分のベストを尽くし、フェアプレイに徹しましょう。





## セルフジャッジの方法

高知県テニス協会が主催する大会は原則としてセルフジャッジで試合を行います。

以下のことに注意して、スポーツマンシップの礼儀をわきまえフェアプレーにつとめましょう。

1. 試合コートに入ったら、相手選手の名前を確認。

2. ウォームアップの開始前にトスをする。

3. サーバーはサーブを打つ前に、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンスする。

プレーヤー同士、アナウンスによってその時点のスコアを確認する。

4. ネットより自分側のコートの判定とコールをする。判定できなかつたら「グッド」。

ボールがラインにタッチした時、ボールとラインの間に空間が見えなかつた時、あるいはボールを見失って判定できなかつた時は「グッド」である。

5. 判定とコールは、相手にはっきりと分かる声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後速やかに行う。代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」、「フォールト」を示し、手のひらを地面に向けて「グッド」を示す。



6. ダブルスの場合、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点。

ペアの判定が食い違っても「フォールト」「アウト」をコールしたプレーヤーが直ちに「グッド」に訂正した場合、1回目に限り故意ではない妨害としてポイントレットとなる。

ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサービスを、1人が「フォールト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「(サービスの) レット」となる。

7. クレーコート以外はボールマークのチェックはできない。

8. インプレー中、よそからボールが入って来るなど妨害が起こった場合、「レット」とコールしてプレーを止め、そのポイントをやり直す。

コート外からの妨害による「レット」のコールは両プレーヤー・チームができる。

9. インプレー中、プレーヤーがラケット以外の着衣・持ち物を相手コート以外の地面に落とした場合、1回目は、「レット」をコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。

レットのコールは、落とし物をしたプレーヤー・チームがすることはできない。

(落としたことがプレーに影響を及ぼさずポイントが終了したら、そのポイントは成立する)

2回目以降、落とすたびにそのプレーヤーの失点。

10. スコアがわからなくなった場合、双方のプレーヤーが合意できるスコアまでさかのぼり、それ以降のプレーで双方が合意できるポイントを足したスコアから再開する。

合意できなかったポイントは取り消される。再開する時のエンドとサーバーは、合意されたスコアに準ずる。



11. トイレットブレイクは8ゲーム以下の試合では、緊急時に自分のサービスゲームの前に限り、シングルス1人1回。ダブルスはペアで1回です。必ずレフェリーに申し出ること。

12. 相手選手のコール、フットフォールト等に疑問や不服があるときは、レフェリーに申し出る。

13. プレーヤー同士で解決できないようなトラブルが起こった場合はすみやかにレフェリーに申し出る。

14. リタイアする時はレフェリーに申し出る。

15. 試合終了後、勝者はすみやかに試合球とスコアを本部に届ける。